

平成３０年度　石川豊杯第４９回香川県空手道選手権大会実施要項

　１．名　　称　　平成３０年度　石川豊杯第４９回香川県空手道選手権大会

第３８回香川県少年少女空手道選手権大会

　２．主　　催

　３．後　　援

㈱四国新聞社 西日本放送㈱

　 　 （公財） （公財）

（公財）

　４．開催日時 平成３０年　９月　２４日（月・振替休日）

　５．場　　所　　丸亀市民体育館

　　香川県丸亀市金倉町９２４番地１　ＴＥＬ：０８７７－２４－６２５１

　６．競技種目　　各種目少人数の場合は、競技運営委員会において併合する場合がある。

　　（１）形 競 技 （男子及び女子の部）

① 幼児 人数制限なし

② 小学１年生 人数制限なし

③ 小学２年生 人数制限なし

④ 小学３年生 人数制限なし

⑤ 小学４年生 人数制限なし

⑥ 小学５年生 人数制限なし

⑦ 小学６年生 人数制限なし

⑧ 小学団体戦（４～６年生、選手３名補欠１名） ２チームまで

⑨ 中学生（１、２年生、有級・有段可） 人数制限なし

⑩ 少　年（中学３年・高校１、２年、有級・有段可）人数制限なし

⑪ 成　年（高校３年以上、有級・有段可） 人数制限なし

　　（２）組手競技　（男子及び女子の部）

① 幼児 人数制限なし

② 小学１年生 人数制限なし

③ 小学２年生 人数制限なし

④ 小学３年生 人数制限なし

⑤ 小学４年生 人数制限なし

⑥ 小学５年生 人数制限なし

⑦ 小学６年生 人数制限なし

⑧ 小学団体戦（４～６年生、選手３名補欠１名） ２チームまで

⑨ 中学生（１、２年生、有級・有段可） 人数制限なし

⑩ 少　年（中学３年・高校１、２年、有級・有段可）人数制限なし

⑪ 成　年（高校１年以上、有段） 人数制限なし

⑫ 成　年（高校３年以上、有級） 人数制限なし

⑬ 成年男子団体戦（高校３年以上、有級・有段） 人数制限なし

有段とは、全空連公認段位取得者を指す。

　７．競技規定 （公財）全日本空手道連盟競技規定に準じて行う。

８．幼児の部の競技方法

（１）形競技は、トーナメント方式とし、決勝戦まで２名同時に演武する。

平安またはピンアン１～５段、撃砕１、２及び全空連第一指定形・第二指定形から選ぶものとし、同じ形を連続して演武してもよい。

（２）組手競技は、トーナメント方式とする。

試合時間は、１分３０秒フルタイムとする。

勝敗は競技時間内に６ポイント差が生じた場合ならびに競技終了時、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、先取した競技者が勝者となる。

（３）安全具（JKF検定に限る）

* 男子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ（小学生用リバーシブル）、ボディプロテクターを着用すること。セーフティカップ、シンガードおよびインステップガードは任意とする。
* 女子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ（小学生用リバーシブル）、ボディプロテクターを着用すること。シンガードおよびインステップガードは任意とする。
* なお、ボディプロテクターは、道衣の内側に着用して下さい

　　　　　自前帯（赤・青帯）の着用を認めます。

９．小学生の部の競技方法

（１）形競技は、トーナメント方式とし、決勝戦まで２名同時に演武する。

準々決勝までを平安またはピンアン１～５段、撃砕１、２から選ぶものとし、同じ形を連続して演武してもよい。準決勝・決勝戦は、全空連第一指定形・第二指定形およびそれまでに演武していない平安又はピンアン１～５段、撃砕１・２から選び、同じ形を連続して演武してもよい。

（２）組手競技は、トーナメント方式とする。

試合時間は、１分３０秒フルタイムとする。

勝敗は競技時間内に６ポイント差が生じた場合ならびに競技終了時、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、先取した競技者が勝者となる。

団体戦において、登録された選手のオーダー変更は回戦毎に自由とする。２名でも参加可能とし、その場合は先詰めとする。

（３）安全具（JKF検定に限る）

* 男子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ（小学生用リバーシブル）、ボディプロテクター、セーフティカップ、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* 女子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ（小学生用リバーシブル）、ボディプロテクター、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* なお、ボディプロテクターは、道衣の内側に着用して下さい

　　　　　自前帯（赤・青帯）の着用を認めます。

10．中学生の部の競技方法

（１）形競技は、トーナメント方式とする。

* 準決勝・決勝戦は得意形とするが、それまでの回戦と異なる形を演武する。（以降は、同じ形を連続して演武してもよい）３位決定戦を行う。※準決勝・３位決定戦・決勝戦は１名ずつ演武する。
* 参加選手が５～８名の場合は、１回戦は第二指定形とする。
* 参加選手が９～１６名の場合は、１回戦は第一指定形、２回戦は第二指定形とする。
* 参加選手が１７～３２名の場合は、１・２回戦は第一指定形、３回戦は第二指定形とする。
* 第１、２指定形及び得意形は、空手道競技規定（ＪＫＦ）の「付録７：指定形リスト」並びに「付録８：得意形リスト」から選択しなければならない。

（２）組手競技は、トーナメント方式とする。

試合時間は、１分３０秒フルタイムとする。

勝敗は競技時間内に６ポイント差が生じた場合ならびに競技終了時、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、先取した競技者が勝者となる。

（３）安全具（JKF検定に限る）

* 男子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ、ボディプロテクター、セーフティカップ、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* 女子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ、ボディプロテクター、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* なお、ボディプロテクターは、道衣の内側に着用して下さい

　　　　　自前帯（赤・青帯）の着用を認めます。

11．少年の部の競技方法

（１）形競技は、トーナメント方式とする。

１回戦は第一指定形、２回戦以降は得意形とするが、１回戦と異なる形を演武する。（以降は、同じ形を連続して演武してもよい）

なお、２回戦から出場する選手がいる場合は、１・２回戦は第一指定形（連続して同じ形を演武してもよい。）、３回戦以降は得意形とするが、１～２回戦までと異なる形を演武するものとする。（以降は、同じ形を連続して演武してもよい。）

第１、２指定形及び得意形は、空手道競技規定（ＪＫＦ）の「付録７：指定形リスト」並びに「付録８：得意形リスト」から選択しなければならない。

※準決勝・決勝戦は１名ずつ演武する。

（２）組手競技は、トーナメント方式とする。

試合時間は、２分フルタイムとする。

勝敗は競技時間内に８ポイント差が生じた場合ならびに競技終了時、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、先取した競技者が勝者となる。

（３）安全具（JKF検定及び高体連検定に限る）

* 男子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ、ボディプロテクター、セーフティカップ、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* 女子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ、ボディプロテクター、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* なお、ボディプロテクターは、道衣の内側に着用して下さい

　　　　　自前帯（赤・青帯）の着用を認めます。

12．成年の部形競技の競技方法

（１）形競技は、トーナメント方式とする。

１回戦は第一指定形、２回戦以降は得意形とするが、１回戦と異なる形を演武する。（以降は、同じ形を連続して演武してもよい）

なお、２回戦から出場する選手がいる場合は、１・２回戦は第一指定形（連続して同じ形を演武してもよい。）、３回戦以降は得意形とするが、１～２回戦までと異なる形を演武するものとする。（以降は、同じ形を連続して演武してもよい。）

第１、２指定形及び得意形は、空手道競技規定（ＪＫＦ）の「付録７：指定形リスト」並びに「付録８：得意形リスト」から選択しなければならない。

※準決勝・決勝戦は１名ずつ演武する。

13．成年の部（有級）組手競技の競技方法

（１）組手競技は、トーナメント方式とする。

試合時間は、２分フルタイムとする。

勝敗は競技時間内に８ポイント差が生じた場合ならびに競技終了時、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、先取した競技者が勝者となる。

（２）安全具（JKF検定に限る）

* 男子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ、ボディプロテクター、セーフティカップを着用すること。シンガードおよびインステップガードは任意とする。
* 女子は、ニューメンホー（Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ）、拳サポータ、ボディプロテクターを着用すること。シンガードおよびインステップガードは任意とする。
* なお、ボディプロテクターは、道衣の内側に着用して下さい

　　　　　自前帯（赤・青帯）の着用を認めます。

14．成年の部（高校１年以上、有段）組手競技の競技方法

（１）組手競技は、トーナメント方式とする。

試合時間は、男子は３分、女子は２分フルタイムとする。

勝敗は競技時間内に８ポイント差が生じた場合ならびに競技終了時、得点の多い選手を勝ちとする。同点の場合は、先取した競技者が勝者となる。

（２）安全具（JKF検定およびWKF検定に限る）

* 男子は、マウスピース、拳サポータ、セーフティカップ、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* 女子は、マウスピース、拳サポータ、ボディプロテクター、シンガードおよびインステップガードを着用すること。
* WKF公認のシンガードおよびインステップガードの使用も可とする。
* なお、ボディプロテクターは、道衣の内側に着用して下さい

　　　　　自前帯（赤・青帯）の着用を認めます。

（３）第４６回全日本空手道選手権大会の選考を兼ねている。出場資格は全日本空手道選手権大会要項に従う。

　15．傷害事故について

　　　　　　　　大会傷害保険に加入していますが、対象内の事故補償となります。

健康保険証（コピー可）を持参して下さい。

　16．出場費　　１種目２、５００円、(形、組手両種目出場の場合は４、５００円となります。)

団体　　　１チーム　５，０００円

　17．申込締切日　平成３０年　８月１０日（金）必着のこと

※郵送、ＦＡＸ等での受付はしない。（トラブルの原因となるため。）

　18．申　込　先　香川県空手道連盟　競技運営委員会（[kyougi@k-k-f.sakura.ne.jp](mailto:kyougi@k-k-f.sakura.ne.jp)）にメール添付で申し込むこと。申し込みメールを受信後、確認メールを返信いたします。

19．進行予定　　役員・審判員・競技委員集合　　　　８時００分

　　　　　　　　　審判員・記計係　　　　　　　　　 ８時４５分

開　会　式　　　　　　　　　　　　９時００分

競 技 開 始 　　　　　 　９時１５分

競 技 終 了 １６時３０分

閉 会 終 了 １７時００分

　20．その他

（１）本大会は、第４６回全日本空手道大会の選考会を兼ねている。出場枠に入った場合は、辞退することのないよう承諾の上、本大会へ出場申込みしてください。（大会終了後、出場意思を確認します。）

　　　少年で全日本選手権へ出場の意思がある者は、成年の部（高校１年以上、有段）組手競技にエントリーすることができるが、少年組手にエントリーすることはできない。

（２）選手は必ず平成30年度香川県空手道連盟の会員登録を行うこと

（３）優勝者・準優勝者及び三位入賞者には、賞状及び記念品を贈呈する。（団体戦は賞状のみ）

（４）小学生・中学生は、氏名を明記したゼッケンを背中につけること

（５）選手の昼食は、各自でご用意下さい。

　お願い　 各団体事務局の方は、連絡担当者のメールアドレスを早急に競技運営委員会までご連絡下さい。

なお、要項等は、香川県空手道連盟ホームページ

<http://k-k-f.sakura.ne.jp>　からダウンロードして下さい。

ゼッケンについて（参考）

・氏名以外のロゴマーク等はつけない。

・団体名は表示しないで下さい。

・サイズは参考とする。

氏　名

約25cm

約15cm